



日本を元気に！
23区から全国へ
全国から23区へ



特別区長会会長
(新宿区長)
吉住 健一

東京23区 TOKYO 23 CITY

全国連携NEWS

vol. 10

発行・編集：特別区長会・公益財団法人特別区協議会
発行：令和6年10月31日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの皆様に知っていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからもご覧いただけます。
特別区全国連携プロジェクトHP <https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>
特別区長会HP <https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>
(特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。)

特別区全国連携プロジェクト 10年のあゆみとこれから

東京23区・特別区長会と全国の自治体との連携により、ともに発展・成長していくことを目指して進めてきた「特別区全国連携プロジェクト」は、取組を開始してから10年の節目を迎えました。

平成26年9月に特別区長会として「全国各地域との信頼関係・絆をさらに強化し双方が発展していくために、連携を深め、東京を含めた全国各地域の経済の活性化、そしてまちの元気につながるような取組として、『特別区全国連携プロジェクト』を展開」するとして「趣意書」を公表しました。

そこからの10年間で東北絆まつりへの協力・連携、全国各地域の13の市長会・町村会及び372自治体との広域連携協定、4つの民間企業との包括連携協定に加え、地震や台風などの被災地に対して人的支援等を積極的に行うなど、これまでに1,100を超える自治体との繋がりを持つことができました。これも全国各地域の皆様のご理解の賜物と感謝いたします。

また、各地域の魅力を発信する「魅力発信イベント」、「自治体間連携シンポジウム」、「全国連携講演会」、東京区政会館を活用した情報発信「全国連携展示」、及び地方創生推進交付金を活用して令和2年度から令和4年度まで、北海道十勝地域と台東区・墨田区、京都府山城地域と渋谷区による「関係人口創出プロ

ジェクト」等を実施してまいりました。この間、コロナ禍の困難な状況下において、交流事業の中止や内容変更を余儀なくされたこともありましたが、遠隔・広域連携の新たなスタイルを模索し取り組んでまいりました。今後もこれまでの取組を踏まえながら、課題解決に向けた実効性のある連携事業を創出・支援・実施するため、取り組んでまいります。

10年の節目にあたり、先般8月28日に「特別区全国連携プロジェクト10年のあゆみとこれから」をテーマに全国連携講演会を開催し、北海道町村会の棚野会長をお招きして講演及び対談を行い、たくさんの皆様にご参加いただくとともに、今後に向けて有益なご示唆をいただきました。

我々自治体は、少子高齢化を背景とした様々な社会問題、デジタル化や脱炭素化の推進、災害リスクへの備え等、山積する課題に着実に対応していかなければなりません。これらの課題は、一つの自治体の努力や取組で解決することは難しく、全国各地域と連携を深め、協力し合うことが必要です。

東京23区・特別区長会は、これまでの取組の成果の上に立ち、連携協力のあり方を一層工夫しながら今後も様々な課題に向き合ってまいります。

東北絆まつり2024仙台 を終えて

令和6年6月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり開催した「東北絆まつり2024仙台」は、県内外から過去最高となる約57万2千人の方に来場いただき、大盛況のうちに無事終了することができました。

東北絆まつりは、東日本大震災の犠牲者の鎮魂と復興を願い始まった「東北六魂祭」の後継イベントとして、「多彩な東北が、熱い絆でひとつになる。」をテーマに、東北を代表する夏祭りである「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」を集合開催するもので、2017年から東北の県庁所在地6市の持ち回りで開催し、途中新型コロナウイルス感染症の影響による延期を挟みながら、昨年の青森開催で一巡を果たしたところです。震災から13年が経過し、東北は復興が進んだ一方で、人口減少や少子高齢化が全国より早く進むなど新たな困難に直面しています。あらためて6市の結束を強め、東北人としての心を一つにし、活力ある東北地方の発展に向けて歩みを進めていくため、仙台から東北絆まつりの二巡目を開催する運びとなりました。



震災後、国内外の皆さまから温かいご支援や励ましをいただき、東北は復興への歩みを一歩ずつ進めてまいりました。今年

1月に発生した令和6年能登半島地震を受け、今年の絆まつりでは、「東北絆まつりパレード」出発式において、高校生による被災地への祈りを込めた書道パフォーマンスを実施したほか、募金や能登地方の物産販売ブース、短冊にメッセージを記入し仙台七夕飾りに掲出するブースなどを設けました。メッセージを載せた仙台七夕飾りについては、金沢市へ寄贈の上、避難所等において掲出いただきました。

また、仙台開催ならではの催しとして、8月の本祭りさながらの豪華絢爛な仙台七夕飾りを商店街アーケードに掲出し来場者をお迎えしたほか、東北絆まつりパレードにおいて、初めて仙台七夕飾りがパレードに参加し、東北絆まつりを構成する6祭りが集結して2巡目のスタートとしてさらにパワーアップした東北の姿を発信することができました。

特別区長会におかれましては、平成27年の東北六魂祭秋田以降、特別区全国連携プロジェクトの一環として多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。来年、東北絆まつりは大阪・関西万博へ参加することが決定しております。震災の際にいただいたご支援に対する感謝と、復興、そしてその先の未来へ前進する熱い東北の絆を、世界へ発信してまいります。

(東北絆まつり実行委員会)



特別区全国連携プロジェクト
公式X(旧Twitter)
@Zenkoku_Renkei

プロジェクトのイベント情報を発信するほか、連携している市町村のイベント情報なども発信します。

よろしければ、
フォローを
お願いします!



特別区全国連携プロジェクト [ホームページ]
<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>
最新情報やイベント情報などを随時更新!

パソコン・スマートフォン・タブレットからご覧いただけます

全国連携 Q検索



登録自治体の皆さまへ

日頃より特別区全国連携プロジェクトの推進にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。特別区全国連携プロジェクトはこれまで300を超える自治体の皆さまに登録をいただいております。会員用HPを効果的にご活用いただくために、担当者や担当部署、アドレス等に変更が生じた場合は登録情報の修正にご協力いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ

03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員登録に関するお問い合わせ

03-5210-9080

公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

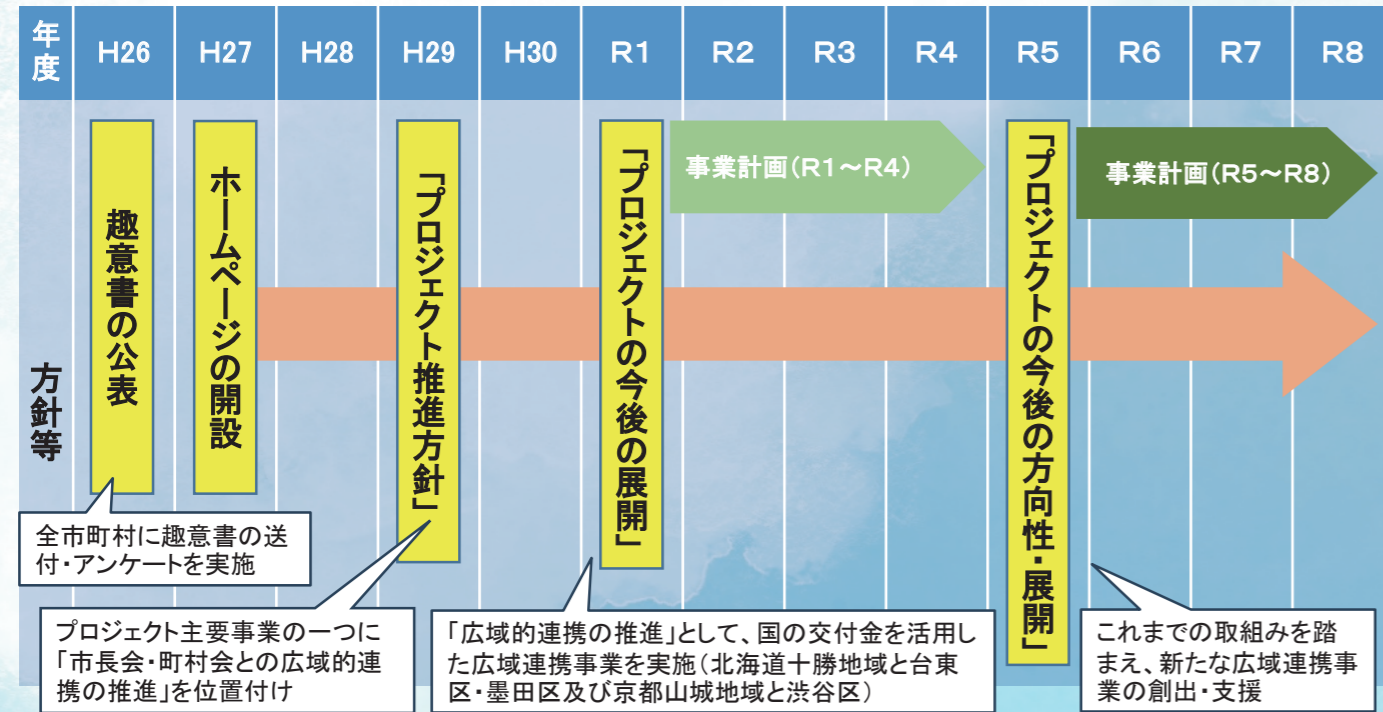
特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

特別区全国連携プロジェクトとは、東京を含む全国各地域がともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区（東京23区）と全国の各地域が連携・交流事業を行う取組として、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトで、本年で開始から10年の節目を迎えました。今後も更なる連携・交流に取り組んでまいります。



※特別区全国連携プロジェクト趣意書

特別区全国連携プロジェクトの主な経緯



被災自治体への支援

地震や大雨など大規模な災害にあった自治体に対し、復旧・復興のための様々な支援を実施

令和6年（2024年）10月1日 現在

発生時期	災害名	主な支援内容
H20 6/14	平成20年岩手・宮城内陸地震	復興支援金の提供（岩手県市長会／宮城県市長会）
H23 3/11	東日本大震災	職員派遣（7,214名）・支援物資等の提供、復興支援金の提供（岩手県/宮城県/福島県/茨城県/栃木県/千葉県）
H25 10/16	平成25年台風26号（伊豆大島土砂災害）	職員派遣、復興支援金の提供（東京都大島町）
H28 4/14~16	平成28年熊本地震	職員派遣（432名）・支援物資等の提供、復興支援金の提供（熊本県／大分県）
H28 8/30~31	平成28年台風10号	復興支援金の提供（北海道／岩手県）
H29 10/21	平成28年鳥取県中部を震源とする地震	復興支援金の提供（鳥取県）
H29 7/5~6	平成29年7月九州北部豪雨	復興支援金の提供（福岡県／大分県）
H29 7/22~23	平成29年7月22日からの梅雨前線に伴う大雨	復興支援金の提供（秋田県）
H29 9/16	平成29年台風18号	復興支援金の提供（大分県）
H29 10/21	平成29年台風21号	復興支援金の提供（三重県／京都府／和歌山県）
H30 6/18	平成30年大阪府北部を震源とする地震	復興支援金の提供（大阪府）
H30 7月	平成30年7月豪雨	職員派遣、復興支援金の提供（岐阜県/京都府/兵庫県/岡山県/広島県/山口県/愛媛県/高知県/福岡県）
H30 9/6	平成30年北海道胆振東部地震	職員派遣、復興支援金の提供（北海道）
H30 8月	令和元年8月の前線に伴う大雨	復興支援金の提供（佐賀県）
R1 9月	令和元年房総半島台風	職員派遣・支援物資等の提供、見舞金の提供（東京都島しょ部）
R1 10月	令和元年東日本台風	職員派遣・支援物資等の提供、復興支援金の提供（岩手県/宮城県/福島県/茨城県/栃木県/埼玉県/千葉県/群馬県市長会/群馬県町村会/千葉県市長会/千葉県町村会）
R2 7月	令和2年7月豪雨	復興支援金の提供（山形県／福岡県／熊本県／大分県市長会／大分県町村会）
R2 2月	福島県沖を震源とする地震	復興支援金の提供（福島県）
R3 7月	令和3年7月1日からの大雨	復興支援金の提供（静岡県）
R3 8月	令和3年8月11日からの大雨	復興支援金の提供（広島県／福岡県）
R3 3月	福島県沖を震源とする地震	復興支援金の提供（宮城県／福島県）
R4 8月	令和4年8月3日からの大雨及び台風8号	復興支援金の提供（青森県／新潟県／石川県）
R4 9月	令和4年台風14号	復興支援金の提供（宮崎県）
R4 9月	令和4年台風15号	復興支援金の提供（静岡県）
R5 6月	令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号	復興支援金の提供（茨城県／埼玉県／和歌山県）
R5 6~7月	令和5年6月29日からの大雨・令和5年7月7日からの大雨	復興支援金の提供（秋田県／山口県／福岡県）
R5 9月	令和5年台風第13号	復興支援金の提供（福島県／茨城県／千葉県）
R6 1月	令和6年能登半島地震	職員派遣（230名）、復興支援金の提供（石川県／新潟県／富山県）
R6 7月	令和6年7月25日からの大雨	復興支援金の提供（山形県）

特別区全国連携プロジェクト ～10年のあゆみ～

平成26年 9月	特別区全国連携プロジェクトの趣旨を全国に発信し、取組開始
平成27年 5月	東北六魂祭（現：東北絆まつり）への協力・連携を締結。現在も継続
6月	ホームページを開設（各地域の紹介やイベントの案内を発信）
9月	西川特別区長会会長（当時）が石破地方創生担当大臣（当時）にプロジェクトの趣旨を説明し、地方創生に連携して取組むことを確認
10月	北海道町村会との連携交流の第1弾として「釧路秋の味覚市」等を開催
平成28年 4月	北海道町村会・京都府市長会・京都府町村会と連携協定締結 全国連携シンポジウム～遠隔自治体間連携の可能性と展望～を開催
6月	青森県市長会・青森県町村会と連携協定締結
12月	魅力発信イベント「東京23区から全国を元気にする魅力発信イベント」を開催。 以降開催を継続（延べ8回実施）
平成29年 1月	千葉県町村会と連携協定締結 全国連携シンポジウム「共存共栄の全国連携～交流人口の拡大と観光～」を開催
2月	広島県町村会と連携協定締結
7月	全国連携講演会「スポーツによる地域間連携」を開催
12月	埼玉県知事と特別区長会との座談会「埼玉県と東京23区との地域間連携の促進」を開催
平成30年 2月	奈良県町村会と連携協定締結
4月	群馬県市長会・群馬県町村会と連携協定締結
5月	埼玉県町村会と連携協定締結
7月	全国連携講演会「地方創生におけるSDGsの取組みと自治体間連携」を開催
8月	第一生命保険株式会社と包括連携協定締結 （地域課題の解決等をテーマに連携。ビジネス交流会等を実施）
平成31年 1月	全国連携講演会「「関係人口」を学ぶ～特別区全国連携プロジェクトの推進に向けて～」を開催
令和元年 5月	損害保険ジャパン日本興亜株式会社（現：損害保険ジャパン株式会社）と包括連携協定締結 （防災減災等5テーマで連携）
7月	全国連携講演会「森林環境税から考える自治体間連携」を開催
9月	三井住友海上火災保険株式会社と包括連携協定締結 （東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化等6テーマで連携）
10月	千葉県市長会・山梨県町村会と連携協定締結
11月	宇治茶の味わい体験in渋谷ヒカリエを開催*
令和2年 1月	全国連携講演会「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と東京23区」を開催
令和3年 1月	公式ツイッター（現:X）を開設
2月	全国連携講演会「新しい生活様式下での関係人口の創出・拡大と地域の魅力の伝え方」を開催
8月	全国連携講演会「未来社会の創造と自治体間連携～環境・教育・技術から考える地域のつながり」を開催
9月	「たいとう・すみだ十勝ウィーク」を開催（4年11月も開催）*
11月	「京都やましろ食材フェア」を開催（5年2月も「お茶の京都大茶会」を開催）*
令和4年 2月	全国連携講演会「地域脱炭素時代の地域間連携を考える」を開催
3月	明治安田生命保険相互会社と包括連携協定締結（地域産業活性化等4テーマで連携）
8月	全国連携講演会「豊かな地域づくりに向けた官民連携のあり方を考える」を開催
令和5年 1月	全国連携講演会「多文化共生のまちづくりに向けた連携のあり方を考える」を開催
8月	全国連携講演会「被災地支援を通じた全国連携」を開催
令和6年 1月	全国連携講演会「全国連携で広がる支援の輪～文化・歴史の絆が繋ぐ熊本の災害復興～」を開催
8月	全国連携講演会「特別区全国連携プロジェクト10年のあゆみとこれから」を開催



東北六魂祭 協力・連携締結式



平成28年度特別区全国連携プロジェクト魅力発信イベント



東北絆まつり開会式吉住区長会会長あいさつ



令和6年度第1回全国連携講演

●このほか、連携自治体の地域を紹介する魅力発信イベント 8回、紹介展示 15回実施
●東北絆まつり（東北六魂祭）に23区を紹介するブースを毎回出展
*は、地方創生推進交付金（国の助成金）を活用して実施

～大地のタカラ×江戸のチカラ～

北海道十勝地域（16町2村）北海道音更町、土幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

×東京台東区・墨田区連携

- 【主な取組】
- ・たいとう・すみだ十勝ウィーク
 - ・エゾ鹿を活用した特産品づくり（十勝エゾ鹿肉活用メニュー、エゾ鹿の革を用いた製品づくり）、デジタル森林浴など

～和文化×多文化～

京都やましろ地域（5市6町1村）京都府宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

×東京しぶや連携

- 【主な取組】
- ・お茶の京都大茶会
 - ・お茶の京都・東京しぶや特産品づくり（「究極のやましろお茶セット」、京都やましろ食材フェア、京都やましろ特産品メニュー）、オンライン茶文化体験ツアーなど